



各 位

平成 28 年 11 月 7 日

会 社 名 市光工業株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 オードバディ アリ
 (コード番号 7244 東証第一部)
 問 合 せ 先 経営企画室長 高森 正樹
 TEL 0463-96-1442

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び 通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

平成28年8月5日に公表致しました平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせ致します。これに伴い、平成29年3月期通期の業績予想について修正致しますのでお知らせ致します。

また、平成28年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを本日開催の取締役会で決議致しましたので、併せてお知らせ致します。

記

1. 連結業績予想値と実績値の差異

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

（金額の単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	51,000	700	600	500	5 円 21 銭
実績値 (B)	50,874	1,110	1,055	1,261	13 円 15 銭
差額 (B - A)	▲ 126	410	455	761	—
増減率 (%)	▲0.2%	58.6%	75.8%	152.2%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	48,433	93	229	0	0 円 00 銭

差異の生じた理由

当第2四半期連結累計期間におきまして、売上高は略予想通りとなりました。一方、営業利益、経常利益は、国内工場の合理化効果やアセアンの海外子会社の経営改善が前倒しで進んだことなどから、更に、親会社株主に帰属する四半期純利益は、国内の収益改善を踏まえた繰延べ税金資産の計上効果もあり、予想を上回ることとなりました。

2. 連結通期業績予想の修正

平成 29 年 3 月期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	113,300	2,800	3,900	3,100	32 円 33 銭
今回修正予想 (B)	110,000	3,300	3,600	4,100	42 円 73 銭
差額 (B - A)	▲ 3,300	500	▲ 300	1,000	—
増減率 (%)	▲2.9%	17.9%	▲7.7%	32.3%	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	102,143	2,429	3,007	2,505	26 円 13 銭

差異の生じた理由

当第2四半期連結累計期間の業績が予想を上回る結果となったことや、為替差損の影響などを、通期業績予想に織り込んだことによるものです。

3. 剰余金の配当（中間配当）について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 28 年 5 月 13 日公表)	前期実績
基準日	平成 28 年 9 月 30 日	同左	平成 27 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	1 円 50 銭	同左	1 円 50 銭
配当金総額	144 百万円	—	143 百万円
効力発生日	平成 28 年 12 月 6 日	—	平成 27 年 12 月 11 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社の利益配分についての基本方針は、安定配当の継続実施であります。

平成 29 年 3 月期の中間配当につきましては、上記の配当の基本方針並びに当社を取り巻く現在の経営環境や財務体質の改善等を総合的に勘案し、平成 28 年 5 月 13 日公表時にお知らせ致しました通り 1 円 50 銭とさせていただくことと致しました。

以 上